

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 都整-17 設計事務										
主管課	建築住宅課				関連課		公共建築 依頼課				
分野名	地域安全										
目標 (目標値)	安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図る。										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備 考
	人 口	177,895人			177,224人			177,204人			・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	12,367			12,702			13,323			
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	12,367			12,702			13,323			
	人員配置数	13.5人			13.2人			13.3人			
	人 件 費(千円)	105,578			106,731			115,711			
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	117,945			119,433			129,034			
	市民1人当りの経費(円)	663			674			728			
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)				
維持保全システムの構築	◎	目標値	85.0%	95.0%	100.0%	100.0%					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	85.0%	95.0%	100.0%	100.0%					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
設計事務	12,367	設計事務	12,563	今後の 方向性	B	理由 ・手法	直営設計、設計委託を効率よく組み合わせること により、事業平準化及び技術の継承を推進する。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	施設を管理する管理者に対し、維持保全システムの運用及びファシリティーマネジメントへの活用についてのサポートを実施する。													
課題解決のための取組	嘱託職員を活用した、サポートの実施を行った。							取組の結果	■解 決 □未解決					
未解決の課題														
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	維持保全方針に基づく、公共施設の適切な営繕業務の執行を目指し、嘱託職員を活用した維持保全システムのサ ポートを引き続き行う。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡ B	
											※■事業完了			
評価者名				建築住宅課担当課長				永田 直樹						

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
設計事務	・建築設計積算業務に要する公的価格データを作成した。 ・建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。 ・耐震化未対応である市有建築物の耐震診断業務を行った。 ・公共建築物の維持保全システムの運用を行った。				○	○	○	○	
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		277	設計業務等補助嘱託員報酬	4,320	4,320	○	○	○	○
		277	設計業務等補助嘱託員費用弁償	121	122	○	○	○	○
		277	消耗品費	530	530	○	○	○	○
		277	印刷製本費	107	54	○	○	○	○
		277	市場単価データ作成業務委託料	1,288	1,287	○	○	○	○
		277	建築積算システム機器賃借料	4,972	4,972	○	○	○	○
	277	マイクロフィルムスキャンシステム賃借料	943	942	○	○	○	○	
277	空調負荷計算ソフト等賃借料	198	140	○	○	○	○		
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	※□ 事業完了								